

体育館スポーツスクール・体育協会スポーツ教室(1期)

●教室名／とき／対象／定員

／参加費 左表のとおり

※市内在住または在勤・在学の人に限る。定員を超えた場合は抽選。

●申し込み 2月7日(木)～22日(金)午前9時～午後5時(月)

を除く)に直接か郵送で市体育館(〒446-0061 新田町新定山41-8)へ
※郵送の場合は、2月22日(金)当日消印有効までに、住所・氏名・電話番号・教室名を記入したものと、80円

切手を貼った返信用封筒を同封し、「スポーツスクール・教室申し込み」と記入し同館へ。

問▼市体育館
(☎75)3535

教室名	曜日	期間	開始時間	対象	定員	参加費
卓球	金	A	午後6時	小学生(初心者)	各30人	各3200円
シェイプアップ	木	B	午後1時30分	女性(初心者)		3800円
ソフトテニス				女性(初心者)		3000円
健康体操	金	A	午前10時	一般	45組	2900円
エンジョイエクササイズ				1歳6カ月～未就園児とその親		4100円
親子からだあそびとママエアロ						
ラージボール卓球	土		午後7時	一般(初心者)	35人	3400円
エアロビクス			午前10時30分		各30人	3500円
シルバースクール	火		午後1時30分	60歳以上	30人	3000円
太極拳	木	B	午後3時	一般	45人	3100円
ふれあい親子スクール			①午前10時 ②午前11時30分	2歳～未就園児とその親	各30組	各3700円
陸上	土	A	午前9時30分	小学4～6年生	120人	2800円
ジュニアソフトテニス			午前10時	小学3～6年生	50人	3600円
バスケットボール	水		午後6時	小学4～6年生	75人	各4000円
バレーボール	木	A	午後5時	小学4～中学3年生	30人	4200円
バドミントン	土		午後7時	高校生以上	35人	各5500円
	火			女性	各40人	4700円
卓球	金	B	午前10時	女性(初心者)	20人	①5000円 ②5800円
インディアカ	木		午後7時	①中学生 ②高校生以上	各10人	①3000円 ②3800円
弓道	水		午後7時30分	18歳以上	各20人	各5000円
アーチェリー	火	B				
硬式テニス(初級)	金					
硬式テニス(中級)						

※中学生以下は年間1人800円のスポーツ保険代が別途必要。
※期間のAは4～7月、Bは4～6月。
※定員に達しない教室は、3月1日(金)午前9時から再受け付け。

環境美化標語を募集

空き缶・たばこのポイ捨て防止や犬・猫のふんの放置防止、地域での清掃の推進など、町の美化を呼びかける作品をお寄せください。優秀作品は、「町を美しくする運動」のポスターや看板などに使用します。

●対象 市内在住または在勤・在学の人

●募集内容 未発表のものを1人1点まで

●表彰 優秀作品に、賞状と記念品を進呈します

●その他 最優秀作品は氏名、町名または勤務先、学校名を公表します。また、応募作品の著作権は市に帰属します

●申し込み 2月28日(木)までに、作品・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号と、勤務先(市外在住の人)または学校名・学年を、直接か郵送(当日消印有効、ファクス、Eメールで清掃事業所)〒444-1155 堀内町西新田2/FAX 77-1318 / kankyo@ozen@city.anto.aichi.jp)へ

問▼清掃事業所
(☎76)3053

暴力団追放標語の入選作品を決定

58人134作品の応募がありました。入賞者は次の皆さん。

●1位 「暴力団 無くすは」(敬称略) 松村さん

●2位 野上忠一(篠目町)、池端奈々(小堤町)

●3位 角谷由香(藤井町在勤)、杉浦幸子(今本町)、兵藤彰高(藤井町在勤)

問▼市民安全課
(☎71)2219

市民デンパーク駅伝大会の交通規制とデンパーク無料デー

大会開催にともない、周辺道路の交通規制をします。規制やう回などは、現地係員の指示に従ってください。ご協力をお願いします。

●規制日時 2月10日(日)午前9時15分～11時30分

●ところ デンパーク周辺(左図参照)

●その他 駅伝大会コースへは自転車の侵入もできませんので、注意してください

●問い合わせ 市体育館 ☎(75)3535

■デンパーク無料デー 当日は、午前8時から無料で入園できます。

●問い合わせ デンパーク ☎(92)7111

■あんくるバスの規制 規制中、次のバス停は停車をしません。

南部線▼2便目↓⑪上之切、⑫和泉口、⑬井杭山、⑭井杭山、⑮和泉口、⑯井杭山

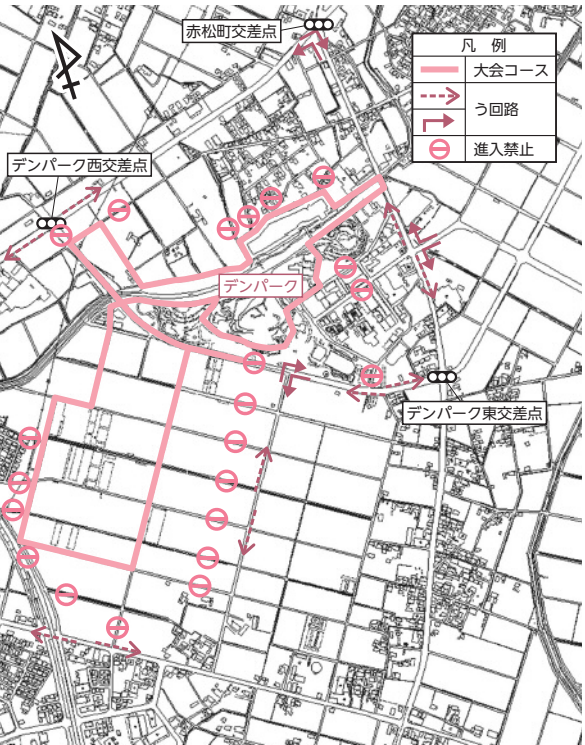
●問い合わせ 都市計画課 ☎(71)2243

軽自動車・バイクの名義・住所変更、廃車手続きは3月末までお願いします

軽自動車税は、毎年4月1日現在の所有者に対して1年分を課税します。月割りではありません。4月2日以降に廃車などをしても、全額を納めることになります。

車を他人に譲ったり廃棄したりして、現在所有していないとしても、手続きをしないと、いつまでも税金がかかります。また、市外から転入した場合も手続きが必要です。3月末までに下表の場所で手続きを済ませてください。

3月下旬は大変混雑しますので、必要書類など事前に問い合わせをし、早めに手続きしてください。



問▼市民税課
(☎71)2213

車種・区分・年税額・ナンバー・手続き場所				
車種・区分	年税額	ナンバー	手続き場所	
原動機付自転車	50cc以下	安城市	市民税課、南部・桜井支所、北部出張所	1000円
	50cc超90cc以下			
	90cc超125cc以下			
小型特殊自動車	三輪以上(ミニカー) 20cc超50cc以下	安城市	市民税課、南部・桜井支所、北部出張所	2500円
	農耕作業用のもの(トラクターなど)			1600円
軽自動車	その他のもの(フォークリフトなど)	1 三河	愛知県軽自動車協会三河分室(豊田市若林西町西葉山48-1 / ☎0565(52)3111)	4700円
	二輪 125cc超250cc以下(側車付き・トレーラーを含む)			2400円
	三輪			3100円
	四輪 貨物営業用			3000円
	四輪 貨物自家用			4000円
二輪の小型自動車	250cc超	三河	愛知運輸支局西三河自動車検査登録事務所(豊田市若林西町西葉山46 / ☎050(5540)2047)	7200円
				4000円

親子いちごプランター植え付け体験、野菜づくり「入門コース」受講生を募集

■親子いちごプランター植え付け体験

●とき 3月9日(日)午前9時30分～11時

●ところ アグリライフ支援センター

●内容 いちごの苗をプランターに植え付け。その後、自宅にて管理・収穫できます

●対象 小学生以下の子とその保護者

●定員 20組(先着順)

●費用 1000円

※縦25cm×横65cm×深さ20cm程度のプランターを持参する場合700円。

●申し込み 2月6日(火)～15



日(金)午前8時30分～午後5時15分(11日(例)を除く)に、電話でアグリライフ支援センターへ



初めての人でも気軽に参加できます

■野菜づくり「入門コース」

家庭菜園などでの野菜づくりの基礎を学びます。ナス、ピーマン、トマトなど10品目程度の野菜を栽培する予定です。農機具などは貸し出ししますので、気軽に参加できます。

●とき 開講式↓4月5日(金)、研修↓4～8月

●ところ アグリライフ支援センター

●対象 市内在住の人

となみチューリップフェア

国内最多500品種・100万本のチューリップをお楽しみください。

●とき 4月23日(火)～5月6日(休)午前8時30分～午後5時30分(入園は午後5時まで)

●ところ 砺波チューリップ公園(富山県砺波市)ほか

●費用 入園料、駐車場整理料(自動車での来場のみ)

●その他 砺波市は市民保養事業対象地区です

●問い合わせ 砺波市花と緑の財団 ☎ 0763(33)7716、市商工課 ☎ (71)2235



砺波チューリップ公園

救命講習会

安城・碧南・刈谷・知立・高浜市在住・在勤の人はどの会場でも受講可能です。

●定員 各20人(先着順)

■普通救命講習Ⅲ(小児・乳児・新生児)

●とき 2月16日(土)午前9時～正午

●ところ 刈谷消防署

●内容 小児・乳児・新生児の心肺蘇生法、ひきつけ、のどに異物が詰まった時の処置

●申し込み 2月5日(火)午前9時から同署 ☎ (23)1299へ

■普通救命講習Ⅰ

●とき 2月17日(日)午前9時～正午

●ところ 安城消防署

●内容 心肺蘇生法、AED使用法、止血法など

●申し込み 2月5日(火)午前9時から同署 ☎ (75)2494へ



心肺蘇生法などを学びます

市スポーツセンターの講座

●ところ 市スポーツセンター

●費用 施設使用料

●申し込み 2月6日(休)～開催日前日の午前9時～午後8時(例を除く)に同センターへ

●親子水泳体験会

●とき 3月10日(日)・17日(日)・24日(日)・31日(日) ①午前10時～11時、②午前11時～正午(いずれも全4回)

●内容 親子で楽しく水慣れやクロールなど

●対象 ①4～6歳の子とその保護者、②小学1～3年生とその保護者

※子ども1人につき保護者1人。

●定員 各15組(先着順)

●持ち物 水着・水泳帽子(必要な人はゴーグル)

●太りにくくなる!カラダづくり教室

●とき 3月7日(休)・14日(休)・21日(休)・28日(休)



水慣れから始めましょう

問▼市スポーツセンター ☎ (75)3545

博物館協議会委員を募集

●職務 博物館の運営などについて調査・審議・提言。年3回平日昼間に開催予定の協議会に出席

●任期 4月1日(月)～平成27年3月31日(火)

●選考 書類、面接(3月12日(火))

●対象 平成5年4月1日以前に生まれ、市歴史博物館の企画展などを観覧したことがあり、応募時に市のほかの公募委員でない人

●定員 1人

●申し込み 応募書類を、2月15日(金)～28日(木)午前9時～午後5時に直接(例を除く)か郵送当日消印有効、ファクス、Eメールで歴史博物館(〒446-0026安城町城堀30/FAX 77-6600/punkazai@city.anjo.aichi.jp/☎ 77-6655)へ

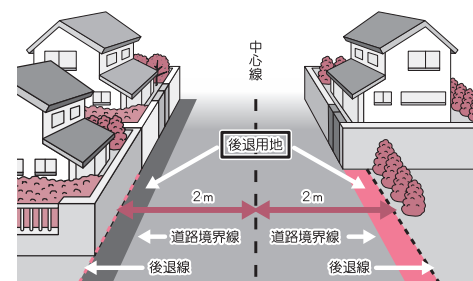
※書類は同館・同館ウェブサイトで配布。Eメールは、件名を「委員公募」としてください。

広げよう！狭い道 狭あい道路拡幅整備事業

古くからの市街地や集落内には、道幅(幅員)4mに満たない狭い道が存在します。そこで本市では、狭い道を広げるため、建物の新築・増改築などの際に、皆さんと協力しながら、左図のように、狭あい道路拡幅整備事業を活用し、

安全で良好な住みよいまちづくりを進めています。

問▼維持管理課
(☎)71-2237
建築課
(☎)71-2241



「安城市狭あい道路拡幅整備事業」による整備イメージ

対象は道幅4m未満の道路、いわゆる「2項道路」(建築基準法第42条第2項に規定する道路)などです。この道路の中心線から2m後退した位置を後退線とします。

寄付する場合

個々の建築行為にあわせ、後退用地(道路境界線と後退線に挟まれた土地)を寄付していただきます。(測量や所有権移転手続きは市が実施。) 塀や植栽などがある場合は、除却・移設をしていただきます。

後退用地は、市が舗装などの整備をします。

自己管理する場合

後退用地を自己で狭あい道路の形状と同程度に整備、維持管理していただきます。この場合は、後退杭を設置するとともに、塀や植栽などの除却、移設をしていただきます。

一般廃棄物処理基本計画の中間見直し(案)への意見を募集

安城市一般廃棄物処理基本計画は、「4R推進によるごみ減量で環境首都・安城の実現」を基本理念に、平成20年度、29年度の10年間で計画期間とし、平成20年4月に策定したものです。

計画策定から5年がたち、社会環境の変化などに対応するための見直し(案)を作成しました。

■計画の閲覧
●閲覧期間 2月1日(金)～3

月4日(月)午前8時30分～午後5時15分(閉庁日・休館日を除く)
●閲覧場所 清掃事業所、市政情報コーナー、中央図書館、文化センター、各地区公民館

■意見の提出
●対象 市内在住または在勤、在学の人。本見直し(案)に利害関係のある人
●意見提出用紙 閲覧場所、市公式ウェブサイトで配布
●意見の提出 意見提出用紙

問▼清掃事業所
(☎)76-3053

を閲覧期間中に直接か郵送、ファクス、Eメールで清掃事業所(〒441-1155堀内町西新田2/☎77-1318/kankyo-hozen@city.anjo.aichi.jp)へ
※市公式ウェブサイト内「パブリックコメント」ページからも閲覧、意見提出ができます。電話での提出はできません。

うちエコ診断で省エネを！



効果的な省エネを提案

●とき 3月10日(月)
●ところ 環境学習センター
●内容 事前調査で、家庭でのエネルギーの使い方を診断し、効果的な省エネを提案
●対象 市内在住の人
●定員 6世帯(先着順)
●申し込み 2月8日(金)～13日(水)に、参加申込書を郵送かファクス、Eメールで環境首

問▼環境首都推進課
(☎)71-2206

都推進課(〒441-8501住所記載不要/☎76-1112/kankyo@city.anjo.aichi.jp)へ
※申込書は、同課、市公式ウェブサイトで配布。

空臨寺(高棚町)所蔵の「方便法身尊像」を市指定文化財に

1月11日付けで、新たに市指定文化財に指定しました。今回の指定により、市指定文化財は20件となり、国指定5件、県指定13件と合わせて、市内の指定文化財は全部で28件となりました。

■全国に20点程度の絵像

本像は、浄土真宗寺院において、主にその寺院が開かれた時に本尊として与えられた阿弥陀如来の絵像です。本願寺8代蓮如(1415～1499年)、同9代実如(1458～1525年)の時代に本願寺門末へ大量に与えられました。絵像には裏書があり、主題名・下付者の署名・願主名などが記載されています。

問▼文化財課
(☎)77-4477

本像は、頭部の真上・蓮台の真下に光明が突き抜けており、発光点も身体全体から発せられているように表されています。また、裏書で確実に読めるのは「願主釈」と「釈」の間が一字分ほど空くのが通例であるのに、これは続けて書かれています。これらの光明の描き方・願主名の記載の書式は、蓮如の長男である順如の手法です。順如下付の方便法身尊像は今のところ全国に20点ほどしか確認されておらず、本像は新発見の順如下付の絵像です。



甘党だった南吉

新美南吉は、童謡「たぎび」の作詞者である。童謡と親交がありました。童謡雑誌「赤い鳥」の先輩投稿者である巽は、南吉の才能を高く買っていました。また、南吉も巽を兄のように慕っていたことから、2人は親しく連絡を取り合っていました。

巽が書いた「新美南吉の手紙とその生涯」という本があります。その中で、「酒をのまない南吉は、いきおい甘党であった。風月堂や中村屋のカステラ、虎屋の羊かんなど当時五円ぐらいするもの(※)を、女房とふたりで、ちょっとしたまに、ぺろりと平らげていた。南吉は胃腸がわるかったようだが、こんなところにも原因があった。」と書いています。

そんな甘党、南吉の面白いエピソードを一つ紹介します。

昭和15年1月10日のことです。その日は朝から雪が降っていました。夕方になり、火鉢が一つしかない安



甘党の南吉に、きつねクッキーの感想を聞いてみたいですね

城高等女学校の職員室は、とても寒い部屋でした。トイレに行っただけでも寒さが骨身に染みてきて、「こんな寒さの中で凍えて死なねばならぬ」といふ辛いことだらう」と南吉は思いました。その後、南吉は職員室で、用務員さんが用意してくれたマグロ鍋を食べて少し暖を取り、仕事を続けます。そして、用務員さんと甘いものの話をしていると、近くの菓子屋で売っていた飴(あめ)つぼが急に欲しくなって、スリッパのまま玄関を飛び出していきました。たたきの上でつると滑るほどの勢いで…。

ところが、お目当ての菓子屋にはカーテンが下ろしてあったため、別の店でどら焼きを購入して、南吉は学校に戻ったのです。甘いもの食べたさに、雪の日にも関わらずスリッパで飛び回る南吉。私たちが普段イメージしている「新美南吉」とは、いざいざと違う印象が、南吉の日記に残されています。

※当時の5円は、現在の2000円程度。

